

道路に關することを

漫録

池本泰兒



日本の自動車の數

吾が國に於ける自動車の總數は、昭和五年八月現在で、九〇、一一六臺で、其の内譯は内地に八二、〇五〇臺、内地外領域八、〇六六臺である、この内官公署用のものが、五六七六臺である。

又吾が國にて使用されてゐる自動車の種別は二七七種であつて、「フォード」「シボレー」が最も多く兩種を含すれば、總數の約七割弱に當る。

今内閣資源局にて調らべられた表を擧ぐれば次の如きものである。

昭和五年八月末現在自動車數調（地方別）

△印は減

種別	地方別		
	乗用自動車	前年トノ 増減	貨物自動車
北海道	一、〇一	一四三	五七
東北	一、〇一	一三九	三九
関東	一、〇一	一	一、八五
中部	一、〇一	一	四〇

靜岐長山福石富新神東千埼群柵茨福山秋宮岩青

漫 奈

岡 阜 野 梨 井 川 山 涡 川 京 葉 玉 馬 木 城 島 形 田 城 手 森

錄

10	船	100	日
11	大	110	月
12	四	120	年
13	五	130	世
14	六	140	紀
15	七	150	史
16	八	160	史
17	九	170	世
18	十	180	紀
19	十一	190	年
20	十二	200	月
21	十三	210	大
22	十四	220	五
23	十五	230	六
24	十六	240	七
25	十七	250	八
26	十八	260	九
27	十九	270	十
28	二十	280	十一
29	二十一	290	十二
30	二十二	300	十三
31	二十三	310	十四
32	二十四	320	十五
33	二十五	330	十六
34	二十六	340	十七
35	二十七	350	十八
36	二十八	360	十九
37	二十九	370	二十
38	三十	380	十一
39	三十一	390	十二
40	三十二	400	十三
41	三十三	410	十四
42	三十四	420	十五
43	三十五	430	十六
44	三十六	440	十七
45	三十七	450	十八
46	三十八	460	十九
47	三十九	470	二十
48	四十	480	十一
49	四十一	490	十二
50	四十二	500	十三
51	四十三	510	十四
52	四十四	520	十五
53	四十五	530	十六
54	四十六	540	十七
55	四十七	550	十八
56	四十八	560	十九
57	四十九	570	二十
58	五十	580	十一
59	五十一	590	十二
60	五十二	600	十三
61	五十三	610	十四
62	五十四	620	十五
63	五十五	630	十六
64	五十六	640	十七
65	五十七	650	十八
66	五十八	660	十九
67	五十九	670	二十
68	六十	680	十一
69	六十一	690	十二
70	六十二	700	十三
71	六十三	710	十四
72	六十四	720	十五
73	六十五	730	十六
74	六十六	740	十七
75	六十七	750	十八
76	六十八	760	十九
77	六十九	770	二十
78	七十	780	十一
79	七十一	790	十二
80	七十二	800	十三
81	七十三	810	十四
82	七十四	820	十五
83	七十五	830	十六
84	七十六	840	十七
85	七十七	850	十八
86	七十八	860	十九
87	七十九	870	二十
88	八十	880	十一
89	八十一	890	十二
90	八十二	900	十三
91	八十三	910	十四
92	八十四	920	十五
93	八十五	930	十六
94	八十六	940	十七
95	八十七	950	十八
96	八十八	960	十九
97	八十九	970	二十
98	九十	980	十一
99	九十一	990	十二
100	九十二	1000	十三

1st 114 1st 115 1st 116 1st 117 1st 118 1st 119 1st 120 1st 121 1st 122 1st 123 1st 124

三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

九九九	五十六
九九八	五十五
九九七	五十四
九九六	五十三
九九五	五十二
九九四	五十一
九九三	五十
九九二	四十九
九九一	四十八
九九零	四十七

編號	卷	頁	題名
1112	卷一	四	三國志
1051	卷一	七	大
1052	卷一	八	天官
1053	卷一	九	先生
1054	卷一	十	西
1055	卷一	十一	西漢
1056	卷一	十二	西漢
1057	卷一	十三	西漢

愛三滋京大兵奈和鳥島岡廣山德香愛高佐長熊

可歌

重知都阪庫良山根取島口川媛知岡賀崎本

大宮鹿沖內朝鮮總督府，臺灣總督府，地計繩鳥兒崎分

昭和五年八月末現在自動車數調		(種別百臺以上ノモノ)		昭和五年八月末現在自動車數調		(種別百臺以上ノモノ)	
名	稱	臺	數	名	稱	臺	數
ボンテアツク	大六	ホワイト	一九六	デソート	一六六	ハツブモビル	一六六
レオ	オ	マツツ	一九四	ガード	一五九	コオーデソン	一五九
パツカード	大〇	ハツブ	一五九	タクシ	一五九	チャシドラー	一五九
ウイルスナイト	要六	モビル	一五九	タクシ	一五九	タクシ	一五九
ウズレー	五四	コオードソン	一五九	タクシ	一五九	タクシ	一五九
グラハムプラザース	五四	タクシ	一五九	タクシ	一五九	タクシ	一五九

昭和五年八月末現在自動車數調
（種別百臺以上ノモノ）

オーバーラント	一、五五	オーフランド	一〇八	インター・ナショナル	一七四
ダツチブラザース	一、四四	ステュードベーカー	一五〇	デュランド	一七一
クライスラー	一、三五	ブリムス	一五五	ダーラード	一七二
ナッシュ	一、一六	フェーデラル	一五九	カーテック	一七四
ハドソン	一、一五	グラハムペーデ	一六〇	アースキン	一七五
ヂー、エム、シー	一、一四	ファイアット	一六一	レバーリック	一七六
シトロエン	一、一三	オースティン	一六二	モウリス・カウレー	一七七
オールズモビル	一、一二	フルコンナイト	一六三	ピアス・アロー	一七八

セメントマカダム鋪装工事

宮城縣では、もう四五年前からセメント混擬土鋪装をやつて居ることは、前にも書いたことがあつた。其の成績が、今日までの結果からいふと、大變いゝやうだ。處で最近一年位前から、もつと簡便に、セメントを混合機で混合しないで、粉末のまゝ碎石の層上に撒布して、それに水を撒き輶壓して路面鋪装をやつてゐるが、成績が非常にいいと、其處の大穀技師から會ふ度に聞かされて居た。此の方法は外國でも、相當にやつて居ることは讀んだこともある。

この度、東北に旅をした時に（何時も何時も東北に旅をした時にと云ふ様でおかしいが、實は今年になつてもう五回も東北へ行つて居る）宮城縣廳に寄つたら丁度仙臺鹽釜間の道路にこの鋪装をやつて居る處だからと誘はれて、機会だと早速見に行つた。

この府縣道は、四五年前にも一度通つた事があつた。路幅は有効六米乃至七、五米で、延長は約二十糠たらずある。宮城縣内で道路構造令に適合する様な近代道路は之れ一本

たし、又東京府でも、やつたとか云ふ話も聞いて居たが、私は今まで其の施工を見たことはなかつた。

しかないと云はれて居る位立派な路線である。宮城縣に松

島がある

限り、仙

臺鹽釜間

のこの道

路は立派

にしなけ

ればなら

ないのは

當然であ

らう。其

の道路を

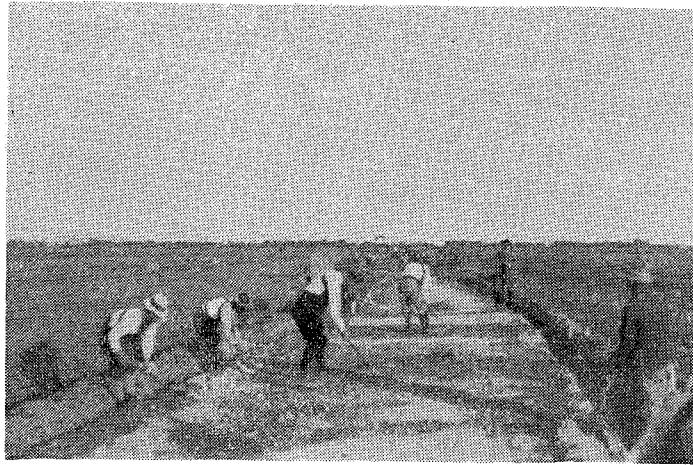
目下失業

救濟事業

として鋪

装をして

居るのである。其の全延長の三分の一は現在路面を基礎と



第一圖

して其の儘鋪装が出来るので、其處は瀝青乳剤に依る簡易

鋪装をや

つて居た

残りの三

分の一は

仙臺寄り

の方で、

幅も割合

二に狭く、

又路床も

少し扛上

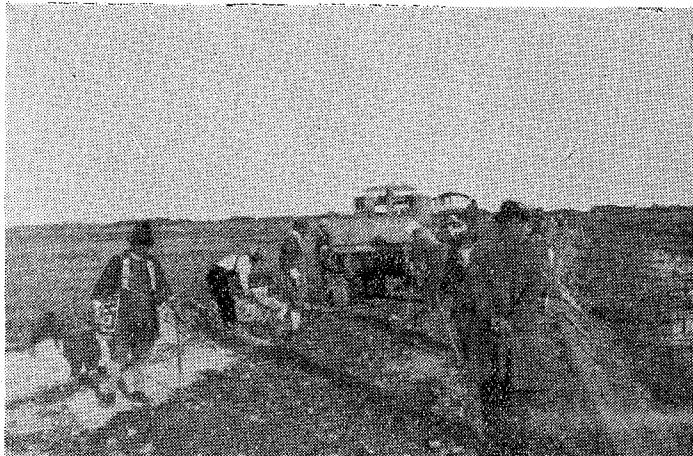
しなけれ

ばならな

いので、

このセメ

ントマカ



第二圖

ダム鋪装をやることになったのである。尤もこのセメント

マカダム鋪装と云ふ名前は、何んだか、さうでも云へば云へる様なものだつたから、斯う書いたが、實は其の時大規技師に、何んと云ふ名前をつけたるのかと聞いて見た處が『ふん、名前なんか』と云はれた。名より實をとれと云ふ意味なんなら

う。其の時寫眞を撮つたから、夫れで施工順を説明して見る。

は路面の不陸均しである。

たが、實は其の時

大規技師

に、何んと云ふ名

前をつけたるの

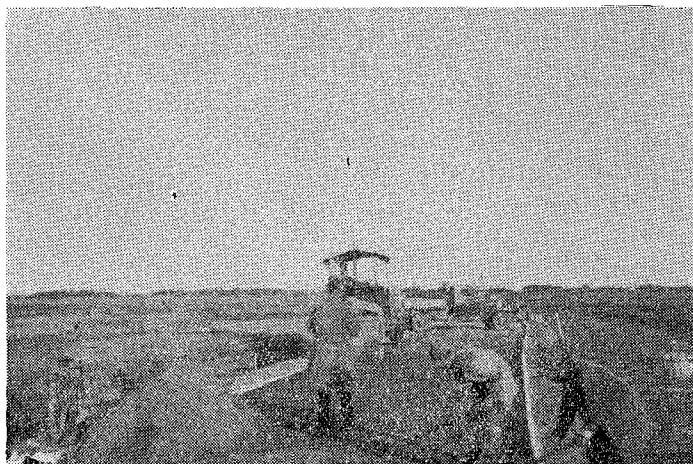
かと聞いて見た處

が『ふん、

名前

なんか』と云はれた。名より實をとれと云ふ意味なんなら

少し低いので、他から切込砂利を自動車で運搬して来て敷



第一圖 第三圖



第一圖 第二圖
第一圖 路肩の處
第二圖 鐵製の型板を入れる處である。

四 挖つてあるのは、

鐵製の型板を入れる處である。

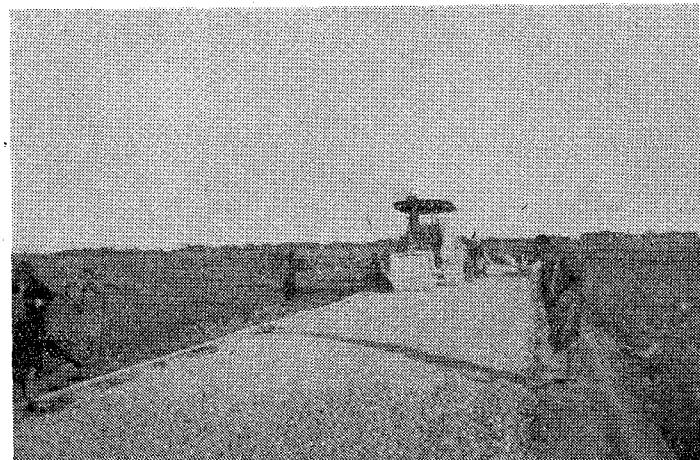
第二圖

は路盤が

き均す處である。

第三圖

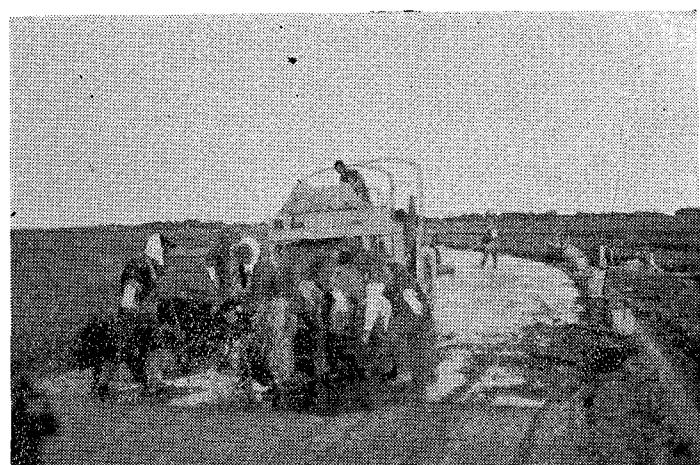
は不足土を敷均して其の上に砂を敷き均して居る處である。即ち此の上に碎石層が出来るので、セメントの粉末がこの砂層でとまり、又路床からの泥土が之れでとまるのである。此の



第五圖 第

砂層を輥壓する。

第四圖



第六圖
砂層を敷き均して居る處である。碎石の大さは、略長徑八〇

は、既に輥壓せられた砂層上に碎石を敷き均して居る處である。處である。砂層の大きさは、略長徑八〇
のから五〇
○ 粒位まで
のもの

つた様だ。之れに輥壓機をかける。空締である。

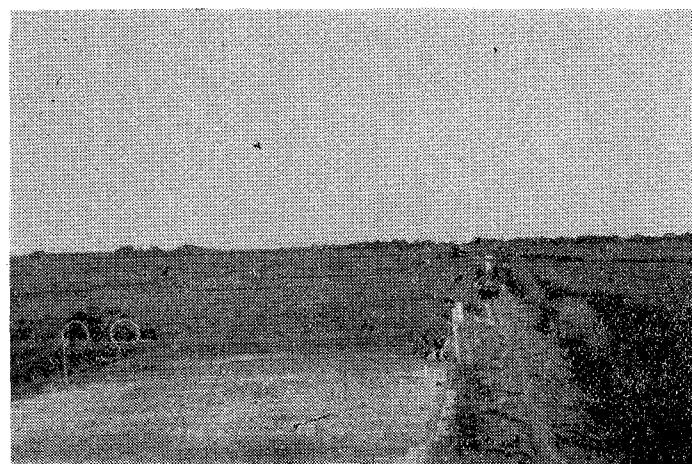
第五圖



第一七圖

輥壓する。

第七圖



第八圖

は輥壓機で輥壓した後、手動輥子で均すのである。

第九圖

ト層の上に水を撒いて居る處である。水を撒いた上を更に

は其の空締した碎石層の上に、セメントをじかに撒布した處である。そして其の上を輥壓する。

第六圖

は輥壓したセメン

が出來上り第十圖は出來上り面の擴大である。之れには龜

裂が入つて居る處も見える。全面龜裂が入つてゐるわけがない。態々

そんな場所を撮つて見たのである。

然し碎石の間にあるセメントの部分は幾らか低くなつてゐる。

即ち凸凹は一面にある。

これだけの施工區間は約二百米位の間だらうか。セメ

ントは碎石の容積の約二七乃至二八%位とか云つて居た。

之れを

見て感ず

ることは

甚だ大膽

な仕事の

第一様な氣が

する。不

足土を敷き均して

直ぐ其の

上に鋪裝

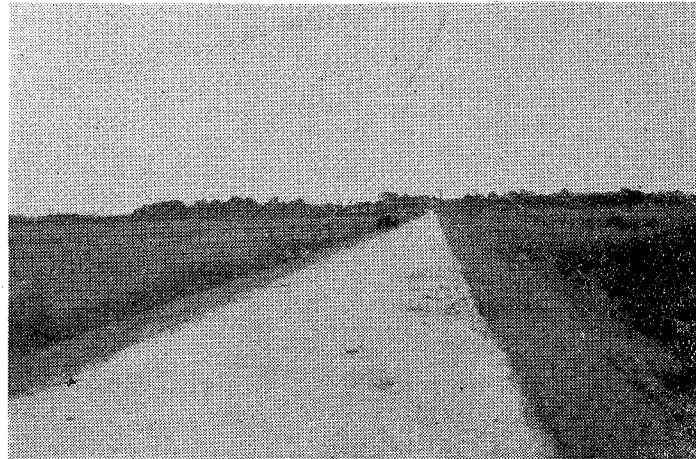
する。一

體に輾壓

の回數も

少ない様

にも思はれた。然し出来上がつた處は立派な混泥土の鋪装



第一圖



第二圖

路面である。立派なものである。大體セメントが無くても水締マカダムなのだから、之れをセメントで締めてあるだけ強い筈だと云ふことになるのだらうと私は考へて見た。

この様なやり方で、瀝青乳剤の鋪装又は、セメント混凝土鋪装をやつたら、暫らくで壊れてしまふに違ひない。この鋪装だから持つ様な氣もする。

軌道工事で砂利基礎(バラスト)のものゝ方が、セメント

混凝土の固い基礎よりも成績のいゝ場合のあることを考へて見ると、鋪装でも彈性のある、フレキシブルに出来て居るものの方が反つて壊れ難ことがあるのかも知れないとも思つて見た。この施工方法で、宮城縣では他にも澤山やつてあるが、相當成績はいゝやうでもある。

私は大規技師が、名前もつけず、細かい仕方書も作らず

改良に改良を加へながら、考へつゝまゝに、大膽なる施工をすんぐやられるのを見て大變愉快だつた。日本の鋪装は、日本人に依つて、日本に適應したもの考へ出さなければならぬ。外國人のやつてゐる方法ばかりを後から後

から隨いて行く様なことは、私は賛成しない。尙一層の御努力を希望する。

今一人日本の鋪装の實用化に就いて真から研究的にやつて居られる人に、東京府の折坂理五郎氏がある。東京府の既設鋪装部分の修繕を擔當して居られる。割り宛てられた少ない豫算のうちで、目の廻る程忙しい雜務のなかで、色々と研究的に、鋪装の經濟化に努力せられて居る。

混凝土鋪装に就ては、鋪装方法に、目地の改良に常に新規軸を考へられてゐる、又瀝青乳剤の應用方法ももう手に入つたものだ。又修繕に用ふる瀝青乳剤は自分の處で極簡単な方法で造つて居る。又歩道用混凝土塊も自製にしやうとも計畫せられてゐる様である。

又シートアスファルトやトペカ式の鋪装の既設鋪装のいたんだもの再度使用方法等に就ても研究を進められて居る。修繕は、鋪装には一番大切な事である。又之れを研究的態度にて施工することがどんなに、我が國の鋪装界に必要であることが。私は君の努力には眞に敬服してゐる。